

英語科

令和6年度 東大和市立第五中学校 授業改善推進プラン 教科名 授業担当者 山崎、板倉、佐藤航

英語科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて

「主体的・対話的で深い学び」の実現、1人一台端末の効果的な活用

|      | 生徒の学力の状況（課題）  | 授業における具体的な改善策<br>（「主体的・対話的で深い学び」における）   | 手だての実施時期   | 年度末評価（2月） |
|------|---|---|--|-----------|
| 第1学年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の活動や発話など積極的に取り組むことができるが、家庭学習習慣がついていないため、学習内容が定着しない。</li> <li>教科書の本文や予め用意された英文を読むことはできるが、即興のやり取りが苦手である。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>毎時帯活動で即興的な会話活動を行う。単語練習・文法演習を家庭学習でも行い、家庭学習で覚える習慣をつけさせる。</li> <li>オンライン英会話を活用し、即興のやり取りの訓練を行う。</li> <li>毎時書く活動を取り入れていく。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>毎時</li> <li>適宜</li> <li>毎回</li> </ul> |           |
| 第2学年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>話す活動は積極的に行うことができる。</li> <li>授業中の発言が多い。</li> <li>単語力がない。</li> <li>英語そのものを苦手とする生徒が限定されてきている。</li> </ul>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>毎時帯活動で40語の単語活動、4時間毎に小テストを実施することで、単語を覚える習慣をつける。</li> <li>「話すこと（発表）」を学期に一度行う。</li> <li>毎時まとまりのある英語「書く」活動を行う。</li> <li>オンライン英会話を活用し、「聞くこと」「話すこと（即興のやり取り）」の訓練を行う。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>毎回</li> <li>適宜</li> </ul>             |           |
| 第3学年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>話す活動は積極的に行うが、書く活動に関しては苦手意識を感じている生徒が多い。</li> <li>授業中に頑張って発言する生徒は多いが、自発的に家庭で地道に単語や文章を書いて覚える生徒は少ない。</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと〔やり取り〕」「話すこと〔発表〕」「書くこと」の5領域について、授業で繰り返し指導を行う。</li> <li>オンライン英会話を活用し、即興のやり取りの訓練を行う。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>毎回</li> <li>適宜</li> </ul>             |           |

■ICTを活用した授業における改善策

1年  
2年  
3年

— 対一のオンライン英会話で活用、発表資料のスライド作成、教科書本文のリテリング・リプロダクション活動